

## 一般質問

# 農業後継者及び新規就農者対策の取り組みは



高野初雄議員

Iターン家族で京都から親子三名が八月に来町の予定である。  
また普及センター・農協・町三者が一体となって取り組んでいる。

### 母ちゃん農業への助成は

高野議員

少子高齢化の中で、担い手農家の確保・育成が重要な課題となっている。厚生労働省の発表によると六十五歳以上の将来推計人口(二千三十年)は、本県を含めて三十五の道・県が三十割を超えると言われているが、本町の取り組みは。

### 三者一体で

町長

平成十一年度に、新規就農者支援事業を制度化し、後継者への一時金は六名、新規参入のIターン者一名、今年度後継者一時金支給予定者三名、

### 助成処置の内容は

意欲ある農業者を重点的に支援しているので、今のところ考えていない。

高野議員

本県の場合、十三年度の高卒就農者六十八名、新規就農者五十六名、Iターン者百二十八名、三十歳台までが、全体で八十四%となっており、農業が見直されている。後継者・Iターン者・Iターン者に対する助成処置について内容を具体的に示せ。

### 町外出身者には一時金百万円支給

町長

助成処置については、後継者三十万円の一時的、Iターン者で即就農は三十万円の一時的、親と違う作物を選択する方、農家以外のIターン者及びIターン者は、二年以内の先進農家研修中は、月額町内出身者十万円、町

外出身者十五万円、また就農時には一時金百万円支給となっている。

### 農業後継者の海外研修は

高野議員

今年度から始まった、青少年一般海外研修事業で、平成十四年度派遣人員高校生三名以内となっているが、派遣人員を数名増やして、一名については、農業後継者を派遣することは出来ないか。

### 改善すべきところは改善する

町長

人材育成事業審査委員会で、その可否を決定することになっており、今回初めて実施する高校生の海外研修は、改善すべきところは改善し、幅広い人材育成を図るため、町民の方々に制度を知っていただくため、広報等を実施したい。

### 食の安全性の取り組みは

高野議員

食の安全性については、輸入野菜の残留農薬問題、食品の不正表示問題・BSE問題等取り沙汰されており、今こそ、環境保全型農業・良質堆肥の確保・有機農業を目標とした、減化学肥料、減農薬による農業が必要と思われるが。

### 普及しているもの、調査中のももある

町長

茶栽培においては、減化学肥料による栽培試験、施設園芸では土壌消毒・蒸気熱水消毒、冠水とビニール被覆による土壌浄化と陽熱消毒の実証圃の設置により普及しているもの、調査中のももある。また、農産物認証制度による、減化学肥料栽培・農薬使用を慣行の五十%以下で栽培している品目もある。

### 汎用コンバインの利用度は

高野議員

汎用コンバインのソバ農家の利用状況と菜種の作付が年々増加しているが、刈取脱穀作業の導入についての取組は。

### 三十ヘクタール程度受託

町長

十三年度水田転作作物の、ソバ面積で十八・九四ヘクタール、菜種七ヘクタール栽培され、うち二ヘクタール収穫を済ませており、天気次第では三十ヘクタール程度は機械センターで受託できる。



汎用コンバインによる収穫